



■この広報紙にあなたが写って
いましたら、総務課企画係(☎82-
4111内線 215)へご連絡くださ
い。写真をさしあげます。

お誕生日おめでとう
1月生まれ
申し込みは毎月15日まで(3歳まで)

とにかくワンパク坊主の泰です。
お兄ちゃん(寛朗くん)に泣かさ
れても、またすぐちよっかいを出
しては困らせています。でも素直
で元気に育ってほしいとお父さん。



大平泰ちゃん
(二男・西中)
昭和61年1月1日生まれ

最近、「ごめんください」とい
うしぐさができるようになりました。
おかげで、お客様が来ると頭を下
げてあいさつをするので、大うけ
です。いつも笑顔でやさしい子に
なってほしいとお母さん。



山上詩織ちゃん
(長女・夏井)
昭和63年1月3日生まれ



お母さんと一緒に作ったケーキは、また格別な味!

お母さんと一緒に
作ったケーキは最高

岩室村母子福祉会の「クリスマスの集い」
「ふれあいの輪をさらに広げよう」と
先月十八日、公民館で「クリスマスの集
い」(岩室村母子福祉会主催)が開かれ
参加した人たちは一足早いクリスマス
を楽しみました。この集会、今回で二回
とあって楽しみにしていた母子たち約五
十人が参加。朝からケーキ作りやレクリ
エーションゲームなどで楽しい一日を過
しました。参加した人たちは「この楽し
い催しで母子のふれあいが深まりました
とほんとうに大喜びでした。」

今月の「このひと」は、昨年十月にオ
ープンした岩室村歴史民俗資料館のため
に積極的な活躍をした村文化財保護審議
会委員長の齋藤嘉吉さん(和納三区・50
歳)をご紹介します。

齋藤さんは学生時代(巻高校在学中)
から歴史や文化財といったものに興味を
持ちはじめ、そのころから古い資料の収
集や郷土史研究を始め
たといいます。そのた
め、この分野では村内
はもちろん、他町村で
も有名な郷土史研究家
として知られています。

「わたしは学生のこ
ろから日本史などの歴
史ものが好きで、とく
に古いものに興味があ
りました。でも歴史を
正確に知るには、まず、
自分の郷土のことを知らなければ……と
思い、手始めに和納の歴史年表作りを始
めました。そのため村内各地を探索する
ようになりました。また、年表作りの合
間をみては、村内だけでなく巻町の鑑瀾
や角海などへも知人とともに出かけたり
して、古い文献や民俗資料の収集を行っ
たものです」と郷土史が好きになったき
っかけを語る齋藤さん。

そんな趣味を通じた活動や体験から齋
藤さんは、村の文化財保護審議会メンバ



郷土史研究家としては、村内外で「この人
あり」とあまりにも有名な齋藤さん。歴史
民俗資料館は齋藤さんらの努力で昨年オ
ープン。

館ができるまでは、それまで収集してい
た各種の資料を保管するのに苦労しまし
た。でも念願であった資料館を開館でき、
これでようやく安住の地ができたという
感じで喜んでいました」と率直にうれしさ
を話す齋藤さん。でも資料館をみなさん
に公開できたのは、齋藤さんら文化財保
護関係者の努力はもちろんですが、公民
館の高齢者学級の文化財ボランティアの
力強い協力があったから、ともいいます
。「本当に文化財ボランティアのみなさん

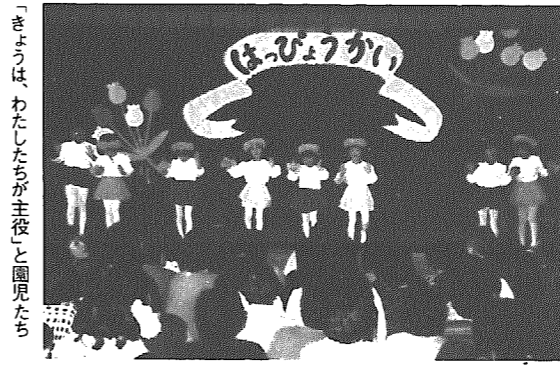
には各方面でお手伝いをしていただき感
謝しています。はじめは軽い気持ちで、
みなさんが若いころに苦労して使った
道具類を子や孫にも伝え残しましょう」と
呼びかけたのですが、これに約二十人
ほどのボランティアが集まってくれまし
た。そして一所懸命、集めた資料の分類
や整理、それに傷んだ民具などの復元な
どに力を貸していただき、おかげで
約六百点の収集品はどれもすばらし
いものになりました。今後はこれら
の一つひとつに目録(説明書)をつ
けたりして内容の充実を図りたいと
思っています。また伝承者のいるう
ちに古い道具類の使い方といったも
のをビデオなどに撮って残しておき
たいとも考えています」とこれから
のビジョンを語る齋藤さんの顔は輝
いています。「この資料館のオープ
ンを機会に少しでも多くのみなさん
から文化財に関心を持ってほしいです
ね。また、この資料館をふるさと発見の拠点
にしていきたいと計画しています。その
一つに集めたムシロ織機やゾウリ編みな
どを実際に使って、子供たちとお年寄
りが一緒になって体験学習したいものが
できた……と思っています。そしてこ
んな活動から村おこし(民芸品など)の
きっかけみたいなものがつかめたら最高
です」と夢と期待を膨らませる齋藤さ
んの言葉に心打たれるものがあります。

このひと
No. 15
齋藤嘉吉さん(和納3区)

とっても上手に踊れたね

各園で人気の生活発表会

「うまくできたよ」「じょうずでしょ」と先月各
保育園で生活発表会が開かれました。ここ中央保
育園でも、毎日一生けんめい練習した歌や踊りがお母
さんたちを前に元気よく披露され、園児たちの楽し
い歌や踊りにつめかけたお母さんたちから盛んな拍
手が送られていました。



「きょうはわたしたちが主役」と園児たち

ファー、きねが
上がらないよ!

和納と高齢者学級生が「もちつき大会」



おばあちゃんの手ほどきでもちつきに挑戦

心温まる交流

岩室中学校では、「自分たちの村に
ある病院に少しでも役に立つこととし
よう」と昨年十一月二十四日、岩室温
泉病院の入院患者さんらを慰問に訪れ
ました。

これは、同校生徒会が中心となり三
年前から続けているもの。この日は、
「早く元気になってね」と生徒会からテッシュのプレゼント